

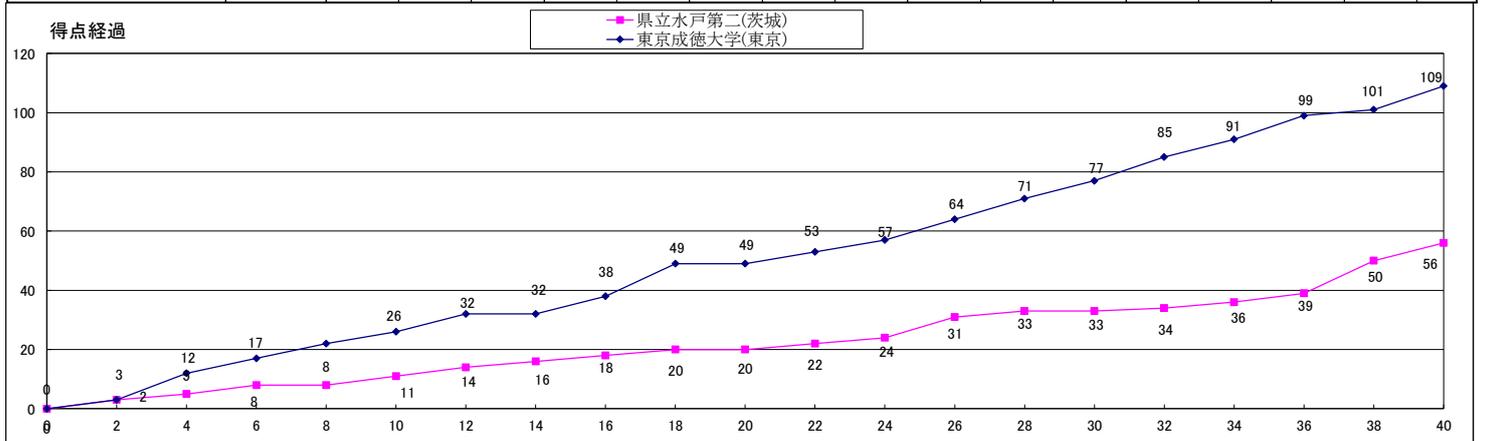
試合No.	C1	大会名	平成27年度 第26回 関東高等学校バスケットボール新人大会							
		期 日	平成28年 2月 6日(土)			会 場	小田原アリーナ			
女子1回戦		主 審	川路 宗勲(神)			副 審	源 佳代子(神)			
		チ-ーム名	1P	2P	3P	4P	延長	延長	合 計	
		県立水戸第二(茨城)	11	9	13	23			56	
		東京成徳大学(東京)	26	23	28	32			109	

県立水戸第二(茨城)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
三浦 早貴	* 4	7	1	7	14%	1	7	14%	2	2	100%	0	1	5	1	0	9	0
谷萩 桃香	* 5	5	1	5	20%	1	1	100%	0	0		0	4	0	2	0	6	0
中沢 美羽	* 6	3	1	2	50%	0	1	0%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
日渡 梨緒	7	1	0	1	0%	0	3	0%	1	2	50%	0	0	1	2	0	0	1
柴田 真希	* 8	24	0	0		8	18	44%	8	8	100%	0	3	1	2	3	3	0
文倉 陽菜	* 9	0	0	0		0	3	0%	0	0		0	4	0	0	0	4	0
谷萩 舞香	10	16	4	11	36%	2	2	100%	0	0		1	1	1	1	1	0	2
森 あおい	11																	
峯岸 奈央	12	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	1	0
磯崎 千晴	13																	
久保木 愛絵	14																	
黒澤 郁久美	15																	
矢口 未来	16																	
八代 桃香	17																	
櫻村 美咲	18																	
コーチ	小松崎 智弘																	
合計		56	7	26	27%	12	35	34%	11	12	92%	1	13	8	8	4	23	3

東京成徳大学(東京)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
小沼 康乃	* 4	15	3	6	50%	3	4	75%	0	0		0	0	0	1	0	0	2
坂牧 祐里	5	7	1	1	100%	2	3	67%	0	0		0	1	0	2	0	1	1
神崎 璃生	* 6	8	2	4	50%	1	2	50%	0	0		0	2	5	3	0	0	2
大原 咲織	7	0	0	0		0	0		0	0		0	3	0	0	0	0	0
濱西 七海	8	8	2	2	100%	1	4	25%	0	0		0	3	1	1	0	0	0
植松 莉佳	* 9	16	0	0		8	12	67%	0	0		1	2	1	3	1	2	4
菅野 恵	10	8	0	0		4	4	100%	0	0		2	7	0	0	1	0	1
清水 智央	* 11	10	0	1	0%	5	10	50%	0	0		2	1	2	0	2	4	1
木村 亜美	* 12	17	3	4	75%	4	5	80%	0	0		2	0	5	2	0	3	0
川角 春華	13	0	0	0		0	1	0%	0	0		0	0	0	0	0	2	0
五老 アミナ	14	2	0	0		1	1	100%	0	0		0	0	0	0	0	0	2
佐藤 理映	15	7	1	1	100%	2	3	67%	0	0		0	0	0	2	0	0	1
奥野 楓	16	2	0	2	0%	1	3	33%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
佐藤 希	17	2	0	0		1	1	100%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
小笠原 彩香	18	7	1	1	100%	2	3	67%	0	0		1	0	0	1	0	0	2
コーチ	遠香 周平																	
合計		109	13	22	59%	35	56	63%	0	0	#####	8	19	14	15	4	12	16



戦評

<第1ピリオド>  
水戸二はゾーンプレスとマンツーマン、東京成徳はマンツーマンで始まる。水戸二はセンター⑧にパスを入れようとするが、長身のディフェンスに阻まれる。東京成徳はローテーションの速いディフェンスに対して、インサイドアウトで④、⑥の3ptsなどで得点し、J有利に試合を展開する。

<第2ピリオド>  
東京成徳の高さが水戸二を上回る。水戸二も⑩の3pts、④のドライブ、⑧のポストプレーなどで頑張るが単発となり、リバウンドを制し速攻も出だした東京成徳がリードする。

<第3ピリオド>  
水戸二はガード④とセンター⑧のコンビプレー、⑩の3ptsで得点するが、東京成徳の忠実なディフェンスを崩せない。東京成徳はディフェンスからオフenseの切り替えを速くし、ウイングが良く走り速攻で加点する。

<第4ピリオド>  
水戸二は高さを超える東京成徳をカバーディフェンスで守って頑張るが、東京成徳のセンターはしっかりした足さばきでステップをしながら、得点、アシストを重ねる。一試合を通じて、東京成徳④のリード力、得点力が光った。